

第12回日本難病リハビリテーション研究会

横浜市総合リハビリテーションセンター共催

日時：2026年11月1日（日）9:00～12:30（受付8:45）

場所：横浜市総合リハビリテーションセンター（横浜市港北区鳥山町1770）



<https://nanbyoreha.com/>

神奈川県モデルから神経筋難病の地域連携を考える



みんなでつくる
神経難病
リハビリテーション
の未来



神経難病リハビリテーションの
発展を推進する環境づくり

神経難病リハビリテーション研究会は、情報交換・研究会の輪づくりの中で、神経難病に関するリハビリテーションの進歩と健全な発展を推進していくことを目指しています。研究会では、「みんなでつくる神経難病リハビリテーションの未来」をコンセプトに、神経難病リハビリテーションに関わる医療従事者のコミュニティづくりを続けています。

会員相互の情報交換、研究協力、的確な情報発信による社会への理解や知識の普及と活動を積極的に行ない、これまでにない医療技術の進歩と、神経難病リハビリテーションの新機軸を築き上げていきたいと考えています。

開会の辞：植木美乃（研究会世話人代表）名古屋市立大学リハビリテーション医学分野

基調講演：座長 植木美乃

「横浜市における地域・在宅リハビリテーションシステム」

横浜市総合リハセンター長 高岡徹 先生

ワークショップ：座長 小林庸子

「デュシェンヌ型筋ジストロフィー者の在宅生活における地域連携」

横浜市総合リハビリテーションセンター 内田亜紀 先生

「急性期病院における難病リハの地域連携－現状と課題、そしてこれから－」

北里大学病院 水野公輔 先生

「レスパイト、療養介護を担当する神経・筋難病専門病院の立場から」

国立病院機構箱根病院 上田智之 先生

参加者の皆様からのご意見を交えた総合討論を予定しています

横浜市総合リハビリテーションセンター見学

閉会の辞：小林庸子（第12回日本難病リハビリテーション研究会実行委員長）国立病院機構箱根病院



申込期間：2026年8月1日～9月30日

参加費無料

どなたでも参加できます

事前申し込みが必要です

参加申し込みは
こちらから →



<https://forms.gle/RJ62dWdSBEczuJ4dA>

事務局：第12回日本難病リハビリテーション研究会実行委員会（nan-reha-12@ca-research.jpn.org）